

平成27年7月度 定例自然観察会報告書

六甲山自然案内人の会

実施日 平成27年7月12日（日曜）
テーマ 森林植物園アジサイ散策と学習の森探検
担当班 6班
参加者 ビジター49名 会員39名 合計 88名
天候 快晴 気温 30℃/24℃
コース 森林植物園展示館前～アジサイ園～長谷池～青葉トンネル～植物園西門～学習の森
～植物園西門～アジア区（うさぎのくに）～展示館前
配布資料 学習の森マップ・植生リスト
説明担当 ビジター担当 1班（宮元）2班（渡辺（弥））3班（松本）
4班（安岡）5班（望月）
会員担当 久保（順）・武川

時間 午前 10：30 展示館前集合
10：32 出発
10：45 アジサイ園
11：05 長谷池
11：15 北アメリカ区
11：25 青葉トンネル
11：36 西門を出る（トイレ）
11：43 学習の森Aゾーン
12：00 お弁当広場にて昼食
12：30 Bゾーンへ出発
14：35 学習の森散策終了・出発
14：45 アジア区（うさぎのくに）
展示館前到着班ごと解散
15：05 最終班到着解散（トイレ）



概要

1 集合

台風が3つも発生する不安定な梅雨の時期でしたが、観察会当日は夏空の強い陽射しとなりました。1時間前から受付を済ませた早いビジターさんたち数名は、集合時間までの間、松本会員がアジサイ苗畑へ案内しました。

森林植物園にバスが到着するごとに受付は忙しくなりましたが、班分けはスムーズに5班に分かれ、挨拶を終えるや出発しました。

2 アジサイ園

進む道の両脇から青やピンクのヒメアジサイたちに出迎われました。

アジサイ園では、レースのようなナデシコガクアジサイが人気で、名前を知りたがる人が多かったようです。

アナベルをまわり込んだあたりで、解説者から「アジサイには毒がありますが、こちらのアマギアマチャは、むしろ薬になるので、薬屋さんが栽培するほどです」と紹介され、皆さんはメモを取っていました。

また、植物園では、あちらこちらに看板が立ててありました。「あじさいの種はどれでしょう」と袋に色んな種が入っています。そこで解説者は、実際のアジサイの種を手に広げて、皆さんに見せました。どれがアジサイの種か良く分かりました。



3 長谷池

長谷池へ進み、白いスイレンと黄色はアサザ。池の前のハナノキについては、「葉より先に花が咲きます。まるで枯れ木に真っ赤な花が咲いているように見えます」と特徴を紹介。

長谷池を通過し、いろんな説明を聞きながら進むと、モクモクと暑そうなスモークツリーや、樹皮の剥がれやすいリョウブが見れた。

4 北アメリカ区

北アメリカ区に到着。「あの高い木は、コントルタマツです。山火事が多い地域ということを利用して、種子散布をします。山火事が起こると硬いマッボックリを開き、パチン！と弾くように種をまき散らします」との解説がされました。

湿度の高い日本では聞けない、興味深い内容でした。

5 青葉トンネル

トンネルの手前で、ウマノスズクサに出合い、ちょうどジャコウアゲハの幼虫が葉に乗っていたので、昆虫と植物の不思議で密接な関係を聞くことができました。

トンネルに入ろうとしたとき、ジャコウアゲハらしき蝶が飛んで来たので、皆で空を見上げました。そして学習の森は、もうすぐです。

6 学習の森

学習の森へ急いでいるところへ、ヒマラヤスギが並んでいました。

「先ほどの北アメリカのマッボックリは、火を利用しますが、ヒマラヤスギのマッボックリは風を利用します。薔薇花びらが散るように崩して種を散らします。シダーローズも呼ばれます」との解説に、皆さん地面の花びら（マッボックリ）を拾い上げて、その形を確認しました。



た
の
と
ボ

学習の森ではAゾーンからBゾーンを探検。

「ここは、人の手で色んな植物を持って来て植えており、全くの自然とは言えません」。との説明があった後、たくさんの植物が紹介されました。

覚えやすそうな特徴のものは、殺菌作用のミソナオシ、カキノキダマシ、ツクバネ、水掻きのあるホソエカエデ。カメムシの匂いのオチフジ、ヤマフジの重いビロードの種。オニシバリ、中国のチャンチン、梅干し味のサンシュユ。海を渡る蝶アサギマダラが育つキジョラン。箒の逆さまはケヤキ。ユリノキはチューリップツリー。

大きなムサシアブミ、オオカナメモチ、プロペラを持つヘラノキ。ハナイカダとは違うナギイカダ等々。

そして宮元会員が葉の上にあったセミの抜け殻を発見しました。

溝渕会員が「セミの抜け殻から色んな事が調べられます」。と説明図を広げて解説された。

学習の森では、たくさんのことを学習できたと思います。

□良かった点 参加された皆さんは装備も体調も完璧な方ばかりで、石段や坂道も慎重に歩かれ、熱心に観察されていました。

□反省点 報告書を書いている本人の反省ですが、学習の森からの帰り道、早く戻る人と、ゆっくり観察をしている人との距離が空きすぎてしまった。一本道で、はぐれる人もなく良かったが、まとまって移動できるように誘導できなかった事を反省しました。

報告者：手島

